



清水けんいち 市政レポート

政策討議資料
第50号
2022年
10月号

【ご挨拶】

皆様の、日頃からのご支援ご協力に、心より感謝申し上げます。議員活動を市民皆様に御報告する事で、少しでも開かれた政治にしていきたい。皆様と力を合わせて「住みやすく・暮らしやすく・子育てしやすい街」深谷を実現していきたい！
そうした強い思いで、「市政レポート」を発行して参ります。

この市政レポートは私の分身です。毎号ファイルに綴って読んでもらっている子は幸せ者で、そのままポイされている子は涙を流しているかもしれません。
皆さんにお願いです。どうぞ、この子を可愛がってあげて下さい。

【議会報告】

深谷市議会 令和4年度 第3回定例会9月議会が終了しました。

主な議案

- ・令和3年度一般会計歳入歳出決算（認定）
- ・令和4年度一般会計補正予算（第4号）（可決）
- ・職員の定年等に関する条例の一部改正（可決）
- ・令和4年度一般会計補正予算（第5号）（可決）
- （他、市長提出議案21件・報告1件）

令和3年度 決算の概要

一般会計歳入歳出決算は歳入616億527万5千538円、歳出545億2千863万5千95円となり、歳入歳出差引額は、70億7千664万443円、翌年度に繰越すべき財源8億5千222万8千996円を差し引いた実質収支額は62億2千441万1千447円の黒字となりました。（下図参照）

令和3年度 決算状況

（単位：円）

区分	一般会計	特別会計	計
予算現額	60,869,870,325	21,502,454,760	82,372,325,085
収入済額	61,605,275,538	20,832,236,945	82,437,512,483
支出済額	54,528,635,095	19,334,708,366	73,863,343,461
差引残額	7,076,640,443	1,497,528,579	8,574,169,022
翌年度へ繰越すべき財源	852,228,996	647,960,800	1,500,189,796
実質収支額	6,224,411,447	849,567,779	7,073,979,226

決算から見る“清水”の注目ポイント

令和3年度の主な事業は、「深谷テラスパーク」や「ふかや花園プレミアムアウトレット（以下、アウトレット）」などの花園IC拠点整備事業、大河ドラマ館の運営（青天を衝け）などの渋沢栄一翁関連事業などが行われた。また、地域通貨ネギーなどの産業価値向上事業など新しい取組みも行われ、第2次深谷市総合計画に掲げた、「元気と笑顔の生産地 ふかや」の実現に向け各種施策が実施され、市民生活の向上と新たなまちづくりの実現のために予算が使われました。一方、将来的な人口減少、急速に進む高齢化、公共施設の老朽化等により、本市を取り巻く環境は厳しい状況にあり、特に新型コロナウイルス感染症の影響による市内経済、更には、今後の財政運営に注視していかなければならず、持続可能な行政サービスが提供できるよう、事業の効率化・自主財源の確保に努めていく必要があります。



補正予算の注目ポイント“水道基本料金の減免”

原油価格・物価高騰の影響を受けている市民皆様の経済的負担を軽減するため水道料金の基本料金を12月から3月まで減免します。また、小中学校給食の食材費補助も決まりました。更に、地域通貨（ネギー）のポイントバックを、10月1日から10月31日まで10%、12月1日から令和5年1月5日まで20%実施します。※本事業は、国の地方創生臨時交付金を活用して行われますので、原則、市の支出はありません。



高齢者施設に入所されている方々の食材費補助と電気料金高騰対策として事業者への効率の良いエアコンの更新や蛍光灯をLED照明に更新する補助を検討するよう提言しております。

皆さん充分注意をしましょう。

清水が令和2年9月議会で提言！振り込め詐欺防止対策（電話機の無償貸与）が本年実施されております。

詐欺の手口は年々変化している、昨年の全国の被害額は、約282億円となり、埼玉県は全国で第5位の被害額です。



もくせい館（川本地区）が複合施設として生まれ変わります。

入浴施設があり、地域の皆様をはじめ多くの皆様に愛されてきた、“もくせい館”が、川本公民館・川本総合支所・図書館・入浴場を備えた複合施設として生まれ変わります。



児童館（こども館）建設に向けて議論が進められております。

清水が平成30年12月議会で提言した、児童館（こども館）が令和7年度の完成に向けて動き出しました。

雨の日でも、子どもたちが安心して過ごせる（遊べる）施設で、子育て支援や地域を繋ぐ多世代交流施設となるよう、引き続き提言して参ります。建設場所は、深谷図書館北側、旧産業会館跡地です。



画像は静岡県津津市の「 tantei kura こども館」

10月20日 清水健一の“アウトレット”がオープン 大丈夫か！交通渋滞

9月20日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)



「積善の家、必ず余慶あり、 積不善の家、必ず余殃あり」

善、すなわち善い行いを積み重ねてきた家には、必ず子孫にいたるまで幸福が続くものです。反対に不善の行いを積む家には、必ず子孫にいたるまで災禍が続くものだ。という易経にある教えです。議席番号15番・清水健一、発言通告書に基づき質問を行ないます。

質問1 アウトレットオープン後の交通対応について

県内では、2008年4月、入間市にアウトレットがオープンしました。私の記憶では、大渋滞が発生し、マスコミなどでも話題となりました。入間市の当時の対応を調べたのですが、オープン前の2月に、企画課、広報聴課、環境課、商工課、防災防犯課、市民生活課、道路整備課、建築指導課、学校教育課の9課で構成する、「アウトレットオープン関連・問題連絡会議」を立ち上げ、苦情などの問題発生時に速やかに対応し、また、事業者との連絡調整にあたられたそうです。深谷市は、どう備えるのか質問します。



答弁 交通対策については、事業の構想、計画、実施の各段階において、関係機関と協議を重ね、交通量に対応できる道路整備を進めてきました。また、開業前に道路管理者、警察、NEXCO東日本、埼玉県、三菱地所サイモン(株)等を集めた交通会議を開催して、交通誘導員の配置や来場車の道線経路、案内看板設置など具体的な対応の情報共有を図っています。アウトレット開業後も、周辺道路の渋滞状況を注視しながら交通会議などを適宜開催し、実際の交通状況に合わせた適切な措置を講じていきます。また、必要に応じて市役所内部に連絡会議の設置を検討していきます。

再質問 渋滞緩和には公共交通が重要な役割を果たすと思いますが、アウトレットのホームページには、東京駅、新宿駅、大宮駅、川越駅から高速バスを運行予定と発表されていますが、詳細を聞かせて下さい。

再答弁 アウトレットの敷地内に2業者3路線が運行予定と聞いています。3路線の1つ目は、東京駅を起点、伊勢崎オートレース場を終点とし、新宿駅やアウトレットを経由するものです。2つ目は、大宮駅西口ソニックシティを起点、アウトレットを終点とし、川越駅を経由する路線、3つ目は、川越駅を起点、アウトレットを終点とする直通路線です。また、時期や路線は不明ですが、ふかや花園駅に停留所を設ける高速バスの計画もあると聞いております。

再々質問 ふかや花園駅に設けられた停留所は私も見てきましたが、東京駅、新宿駅等を経由して、アウトレット、そして、終点は草津温泉となっていました。まずは、お客様を連れて行くことが重要と思いますが、深谷駅南口からアウトレットまで、土日、祝祭日のみ直通バスが運行されるようですが、市街地や渋沢栄一翁関連施設に、観光客を誘導する回遊性向上につ



いて考えを聞かせて下さい。

再々答弁 アウトレットオープン後の状況を確認しながら検討して参ります。

質問2 拠点整備地内・施設などの連携について伺います。

平成18年に、「まちづくり三法」が見直され、埼玉県は、ガイドラインを策定し、大型店、チェーン店に地域商業貢献を求めていくと同時に、県、市町村、商工団体、商店街が何をしたらよいか、その役割を具体的に示しました。

その中で、大型店、チェーン店は、地域の一員としての自覚を持ち、ガイドラインを遵守すること、市町村は、関係者相互の「つなぎ役」となる事と、明記されています。

深谷テラス、キューピー、アウトレットと市内商工団体が連携協力して、地域活性化に繋げていくべきと考えますが、市の対応について伺います。

答弁 事業者公募の段階から「地域経済への貢献」を評価基準の一つとしており、今後は更に連携の強化に努め、地域経済の活性化に繋げて参ります。

再質問 アウトレットで、地元農産物・特産物の販売など、「マルシェ」をアンテナショップとして、市主催で開催できないか伺います。

再答弁 アウトレットのテナント部分と深谷テラスパークを結ぶ通路部分で地域活性化に資する取組みができないか、関係部署と連携をしながら取り組んで参ります。

清水の 提言で 約1億5,600万円の削減！

質問3 水道事業、老朽管更新事業について

この質問は、今から5年ほど前の2017年12月議会で最初に取り上げ、2018年9月、そして12月に続き4回目の質問となります。深谷市の水道配水管の総延長は、約1,100キロあり、当時は、毎年約6億円をかけ、11キロから12キロの老朽管を更新していました。単純に計算しても、約600億円を費やし、100年掛かるわけですが、配水管の耐久年数は100年ではないので、何とかならないかと調査研究をし、配水管ポリエチレン管の採用を提言させていただき、当時の部長はじめ関係職員、皆さんの素早い判断と実行力のおかげで、採用され、今日に至ったことに対し、この場をお借りして、感謝を申し上げます。そこで、質問します。ポリエチレン管の採用による、工事費削減額について伺います。

答弁 清水議員からの提言を受けまして、市では、メーカーからの情報収集や施工業者との意見交換を行い、正式採用した令和2年度は設計額で約1億1千300万円、令和3年度が約4千300万円の削減となりました。



質問を終えて 長年の市の懸案でありました、アウトレットがオープンしますが、これで終わりではなく始まりであると捉えております。農業と観光の振興、雇用の確保を始め地域経済の活性化を更に進めていかなければなりません。そして、まずは交通渋滞対策を、しっかりと行うべきで、私の感想では、市は少し楽観視しているように思います。

これからの“清水”が取組むべき課題

物価高騰、燃料高騰で厳しい生活を強いられている市民や事業者の皆様のため、実施可能な政策を立案し提言していきます。また、少子高齢化、人口減少が待たなしの状況にある中、「子ども条例」等を調査研究し、条例制定に繋げていくことで、「子育てしやすい深谷」を創り上げ、子育て世代を深谷に呼び込み、移住定住・人口増に繋げていきたいと思っております。

清水健一 連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0395

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: info@shimizu-kenichi.jp



プロフィール

昭和36年1月27日生まれ (61才)

家族構成 妻、長男、長男妻、長女、次女、孫2人 (8人家族)

- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 深谷市立花園中学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- ◎ ふかや市商工会 副会長
- 深谷市議会 議長

このレポートは、政務活動費
を使わず清水個人の自費
で発行しております。

10月20日 清水健一の“アウトレット”がオープン 大丈夫か！交通渋滞

9月20日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)



「積善の家、必ず余慶あり、 積不善の家、必ず余殃あり」

善、すなわち善い行いを積み重ねてきた家には、必ず子孫にいたるまで幸福が続くものです。反対に不善の行いを積む家には、必ず子孫にいたるまで災禍が続くものだ。という易経にある教えです。議席番号15番・清水健一、発言通告書に基づき質問を行ないます。

質問1 アウトレットオープン後の交通対応について

県内では、2008年4月、入間市にアウトレットがオープンしました。私の記憶では、大渋滞が発生し、マスコミなどでも話題となりました。入間市の当時の対応を調べたのですが、オープン前の2月に、企画課、広報聴課、環境課、商工課、防災防犯課、市民生活課、道路整備課、建築指導課、学校教育課の9課で構成する、「アウトレットオープン関連・問題連絡会議」を立ち上げ、苦情などの問題発生時に速やかに対応し、また、事業者との連絡調整にあたられたそうです。深谷市は、どう備えるのか質問します。



答弁 交通対策については、事業の構想、計画、実施の各段階において、関係機関と協議を重ね、交通量に対応できる道路整備を進めてきました。また、開業前に道路管理者、警察、NEXCO東日本、埼玉県、三菱地所サイモン(株)等を集めた交通会議を開催して、交通誘導員の配置や来場車の道線経路、案内看板設置など具体的な対応の情報共有を図っています。アウトレット開業後も、周辺道路の渋滞状況を注視しながら交通会議などを適宜開催し、実際の交通状況に合わせた適切な措置を講じていきます。また、必要に応じて市役所内部に連絡会議の設置を検討していきます。

再質問 渋滞緩和には公共交通が重要な役割を果たすと思いますが、アウトレットのホームページには、東京駅、新宿駅、大宮駅、川越駅から高速バスを運行予定と発表されていますが、詳細を聞かせて下さい。

再答弁 アウトレットの敷地内に2業者3路線が運行予定と聞いています。3路線の1つ目は、東京駅を起点、伊勢崎オートレース場を終点とし、新宿駅やアウトレットを経由するものです。2つ目は、大宮駅西口ソニックシティを起点、アウトレットを終点とし、川越駅を経由する路線、3つ目は、川越駅を起点、アウトレットを終点とする直通路線です。また、時期や路線は不明ですが、ふかや花園駅に停留所を設ける高速バスの計画もあると聞いております。

再々質問 ふかや花園駅に設けられた停留所は私も見てきましたが、東京駅、新宿駅等を経由して、アウトレット、そして、終点は草津温泉となっていました。まずは、お客様を連れて行くことが重要と思いますが、深谷駅南口からアウトレットまで、土日、祝祭日のみ直通バスが運行されるようですが、市街地や渋沢栄一翁関連施設に、観光客を誘導する回遊性向上につ



いて考えを聞かせて下さい。

再々答弁 アウトレットオープン後の状況を確認しながら検討して参ります。

質問2 拠点整備地内・施設などの連携について伺います。

平成18年に、「まちづくり三法」が見直され、埼玉県は、ガイドラインを策定し、大型店、チェーン店に地域商業貢献を求めていくと同時に、県、市町村、商工団体、商店街が何をしたらよいか、その役割を具体的に示しました。

その中で、大型店、チェーン店は、地域の一員としての自覚を持ち、ガイドラインを遵守すること、市町村は、関係者相互の「つなぎ役」となる事と、明記されています。

深谷テラス、キューピー、アウトレットと市内商工団体が連携協力して、地域活性化に繋げていくべきと考えますが、市の対応について伺います。

答弁 事業者公募の段階から「地域経済への貢献」を評価基準の一つとしており、今後は更に連携の強化に努め、地域経済の活性化に繋げて参ります。

再質問 アウトレットで、地元農産物・特産物の販売など、「マルシェ」をアンテナショップとして、市主催で開催できないか伺います。

再答弁 アウトレットのテナント部分と深谷テラスパークを結ぶ通路部分で地域活性化に資する取組みができないか、関係部署と連携をしながら取り組んで参ります。

清水の 提言で 約1億5,600万円の削減！

質問3 水道事業、老朽管更新事業について

この質問は、今から5年ほど前の2017年12月議会で最初に取り上げ、2018年9月、そして12月に続き4回目の質問となります。深谷市の水道配水管の総延長は、約1,100キロあり、当時は、毎年約6億円をかけ、11キロから12キロの老朽管を更新していました。単純に計算しても、約600億円を費やし、100年掛かるわけですが、配水管の耐久年数は100年ではないので、何とかならないかと調査研究をし、配水管ポリエチレン管の採用を提言させていただき、当時の部長はじめ関係職員、皆さんの素早い判断と実行力のおかげで、採用され、今日に至ったことに対し、この場をお借りして、感謝を申し上げます。そこで、質問します。ポリエチレン管の採用による、工事費削減額について伺います。

答弁 清水議員からの提言を受けまして、市では、メーカーからの情報収集や施工業者との意見交換を行い、正式採用した令和2年度は設計額で約1億1千300万円、令和3年度が約4千300万円の削減となりました。



質問を終えて 長年の市の懸案でありました、アウトレットがオープンしますが、これで終わりではなく始まりであると捉えております。農業と観光の振興、雇用の確保を始め地域経済の活性化を更に進めていかなければなりません。そして、まずは交通渋滞対策を、しっかりと行うべきで、私の感想では、市は少し楽観視しているように思います。

これからの“清水”が取組むべき課題

物価高騰、燃料高騰で厳しい生活を強いられている市民や事業者の皆様のため、実施可能な政策を立案し提言していきます。また、少子高齢化、人口減少が待たなしの状況にある中、「子ども条例」等を調査研究し、条例制定に繋げていくことで、「子育てしやすい深谷」を創り上げ、子育て世代を深谷に呼び込み、移住定住・人口増に繋げていきたいと思っております。

清水健一 連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0395

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: info@shimizu-kenichi.jp



プロフィール

昭和36年1月27日生まれ (61才)

家族構成 妻、長男、長男妻、長女、次女、孫2人 (8人家族)

- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 深谷市立花園中学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- ◎ ふかや市商工会 副会長
- 深谷市議会 議長

このレポートは、政務活動費
を使わず清水個人の自費
で発行しております。